

科目区分：健康・スポーツ科学科目

| | | | | | | | | |
|--|--|-----|-----|----------|----|-------|-----|-----|
| 授業科目名 | スポーツ演習（サッカー） | | | | | 学期 | 曜日 | 校時 |
| 英語名 | Sport and Exercise | | | | | 前期 | 火曜日 | 3校時 |
| 担当 教員名 | 畑 孝幸 | 単位数 | 1単位 | 必修 選択 | 必修 | | | |
| 授業のねらい・内容・方法 | | | | | | | | |
| <p>高いQOL（生活の質）を生涯にわたって築き保っていけるよう、さまざまなスポーツ、ジョギングやダンスによる有酸素運動、リラクゼーションに関する運動などを教材として教養教育を行う。身体運動が生活習慣病予防をはじめとして健康の保持増進に役立つことを理解するだけでなく、運動の実践を通じて文化、教育、政治、経済等の社会の出来事に興味を持ち、今後も関わりをもち続けられるよう、自立的な能力を育成することが目的である。</p> | | | | | | | | |
| テキスト、教材等 | | | | | | | | |
| テキストは使用しない。必要に応じて関係する資料やビデオ教材を利用する。 | | | | | | | | |
| 対象学生 | 成績評価の方法 | | | | | 教員研究室 | | |
| 1年の各指定クラス （健康・スポーツ科学履修要項を参照） | 出席状況、取り組みの意欲、技術の上達の程度、チームへの貢献度などを総合的に評価する。ただし、全期間の欠席が2回をこえる場合には原則として失格になる。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | | |
| <p>サッカーを通して身体運動に関する自立的な能力を開発することを目的とする。サッカーの知識・理論を学習し、技術・戦術を実践的に習得するが、そのための思考力と方法的能力を養成することがねらいである。授業は男女共習のグループ学習の形態で行い、グループごとに学習内容を「計画」し「実践」する。その後「ふりかえり」を行い、グループ内での課題の発見とその解決について検討する。受講者にはグループや自己に対する理性的な評価・批判と主体的な態度・意欲が求められる。主要な評価の対象となるのは、計画表、技能の向上度、試験、その他の4点である。授業の予定は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、軽度の運動（1回） 2. グループング、授業展開方法の説明（2回） 3. グループ学習（準備運動 練習 ゲーム ふりかえり）（3～14回） 4. 総合実践（15回） <p>（予習・復習に関する指示） 毎回作成される計画表は、授業後に提出し、評価終了後、次回の立案者に渡される。</p> <p>（オフィスアワー） 質問受付時間：予め相談して決定 場所：教員研究室</p> | | | | | | | | |